

せとうち DMONEWS

事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう
活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
106

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2025年4月30日

発行：せとうちDMO

発行人：小原・國本

住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

瀬戸内Finder

setouchifinder.com

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

「尾道倶楽部」開業記念セレモニーを開催

広島県尾道市西土堂町の元旅館 旧「千光寺山荘」を、瀬戸内ブランドコーポレーションの100%子会社である(株)せとうち山荘(広島市中区 代表:田部井智行)がリニューアルしたホテル「尾道倶楽部」の開業記念セレモニーが、2025年3月24日に開催されました。



当日は、尾道市長をはじめ地元経済界の皆様にご出席いただき、尾道水道を望むルーフトップバーで、尾道を代表する老舗旅館の再生をお祝いいただきました。





尾道のランドマーク、千光寺山の中腹に位置する「尾道倶楽部」は、60年以上の長きに亘って地元の皆様に親しまれた旧・千光寺山荘をリニューアルした、エリア屈指の眺望を誇るホテルです。

「尾道を目に宿す宿」をコンセプトに、国内有数の写真旅のロケーションや尾道を楽しむ旅の拠点を狙っています。



ご予約はこちら <https://onomichi-club.jp/>

新たなメンバーを紹介します!①


春風のぬくもりを感じながら、今年も満開の桜がせとうちを彩りました。
4月は新たな出会いと出発の月でもあります。
この春、4月からせとうちDMOに10人(せとうち観光推進機構6人+瀬戸内ブランドコーポレーション4人)の新たなメンバーが加わりました。
新メンバーを含めせとうちDMO全員でこれからのせとうち地域を観光で盛り上げていきますので、皆様のご声援をよろしくお願いいたします!



【上】松山城(愛媛県松山市)


せとうち観光推進機構 管理グループ

小林 祐万



広島県から出向となりました小林です。入庁10年目のタイミングで、設立10年目を迎えたせとうちDMOに加わることができ、縁を感じています。次の5年、10年に向けて皆で新たなせとうちDMOを創っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。


國本 直樹



山口県から出向となりました國本です。管理Gとして、せとうちDMO全体の円滑な運営を行い、せとうちの魅力向上・誘客促進の一助となれるよう努めてまいります。また、せとうち全体としてのPRはもちろんですが、そこから山口県に流れて行ってもらえるよう頑張ります。

せとうち観光推進機構 誘客グループ


富田 ひなた



香川県から出向となりました富田です。直近では林業分野の業務を行っており、観光分野は初めてなので色々勉強できればと思います。今年瀬戸内国際芸術祭が開催される年であり、せとうち地域を国内外の多くの方に知っていただける年だと考えています。せとうち地域の美しい景観や伝統文化、芸術、食などの魅力をさらに発信できるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。


せとうち観光推進機構 地域の魅力づくりグループ

一橋 利幸



広島県から出向の一橋です。皆さまと力を合わせて、せとうちの魅力づくりに貢献していきます。よろしくお願いいたします。


本田 瑞季



兵庫県庁から出向の本田です。せとうちへの誘客のため、たくさん魅力を発信していきたいです。よろしくお願いいたします!

せとうち観光推進機構 マーケティンググループ(新設)

藤岡 成輝



JTBから出向となりました藤岡です。

これまでの経験を活用し、「せとうち」を盛り上げてゆきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

CMO(チーフ・マーケティング・オフィサー)
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者

新たなメンバーを紹介します!②

瀬戸内ブランドコーポレーション 投資事業本部

林 真人



4月に瀬戸内ブランドコーポレーションに入社いたしました林です。前職は金融機関で、事業再生を中心とした企業の経営支援に携わり、課題解決や成長戦略の策定に尽力してきました。新たな出会いにワクワクしながら、これまで培ったスキルを活かしてせとうち地域の魅力を最大限に引き出し、観光振興と地域経済の発展に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。

瀬戸内ブランドコーポレーション エリアプロデュース事業本部

秋山 昌彦

中国銀行から出向の秋山です。銀行では法人営業を担当しており、観光コンサル、ファンド業務は初めてですが、一日でも早く業務に慣れると共に、楽しく仕事をする事で岡山県、瀬戸内の観光に貢献できるよう頑張ります。



福原 大貴



4月より伊予銀行から出向となった福原です。銀行では主に法人営業を行っていました。観光業務に初めて携わることとなり、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、少しでも瀬戸内の観光の活性化に力添えできるよう全力で取り組んでいきます。これからよろしく願います。

4月よりみなと銀行から出向となりました、藤田と申します。銀行では主に法人営業を行っていました。観光に関する知識・経験共に不足しておりますが、一日も早く吸収し、瀬戸内地域の発展に貢献できるよう努力致します。よろしく願います。

藤田 詠大



せとうち観光推進機構 組織編成

2025年度までの経営企画グループ、誘客グループ、地域の魅力づくりグループという3グループ体制から、経営企画グループは管理グループと名を変えたのに加え、新たに「マーケティンググループ」が設立されました。

マーケティンググループとはどういったことを行っていくのか、どのようなメンバーで構成されているのかを以下で説明いたします。

新設！マーケティンググループの目標&メンバー紹介



マーケティンググループは何をする？

顧客＝ステークホルダー（自治体・観光関連団体）のニーズに応えるため、データに基づくトレンドを把握し、顧客の販売（観光消費額）の拡大につながる仕組み作りを行います。



藤岡 成輝
 (株)JTBCから出向
 CMO
 (最高マーケティング責任者)

民間企業での経験と自治体出向経験を活かし、ステークホルダーの皆様にご貢献できるよう取り組みます。



木本 勇
 (株)日本旅行から出向
 エグゼクティブマネージャー
 サステナビリティ・コーディネーター

地域の観光関連団体・事業者にご貢献できるよう、メンバーと連携して取り組みます。



山崎 弘学
 広島県から派遣
 シニアマネージャー

広島県で取り組んだ「イノベーション」のノウハウを、マーケティングとミックスさせながら、せとうち7県の皆様と一緒に、観光を楽しく盛り上げて参ります！

2. グループのMISSION



CMO（最高マーケティング責任者）の配置と役割

CMO「Chief Marketing Officer」（最高マーケティング責任者）は、DMOの観光地経営戦略を統括する責任者であり、マーケティング戦略の策定や実行、ブランディングなどをおこなう役割で、次期中期計画（2026⇒2030）の策定プロデュースを行います。

また、現中期計画で定めたKGIのモニタリングとして「マンスリーレポート」「年次レポート」の作成と、DMO社員並びにステークホルダーへの周知活動を行います。

作成ツールとして、2024年度に構築したDMP（データマネジメントプラットフォーム）を活用します。

サステナビリティコーディネーターの役割

持続可能な観光地づくりを行うため、観光庁が作成した「日本版持続可能な観光ガイドライン」の取り組みを促進します。

持続可能な観光地づくりを目指す自治体やDMO等の観光団体の参画による「せとうちサステナブル協議会」の発足を目指します。具体事業として

- ①GSTC研修を行いJSTS-Dロゴマークの取得促進をします。
- ②先進地研修等を行い、地域の取り組みの高度化を図ります。

第122回:移動が出来ない!地方の交通課題の解決で観光客の回遊性を向上させる

◆日時:2025年3月27日(木) 14:00~15:00

◆講師:株式会社REA

代表取締役 坂田敬次郎氏

公共交通機関の減少や、ドライバー不足により地域の移動課題が深刻化しております。

特に、観光客の移動課題は観光消費や観光客の旅行満足度にも直結します。

今回、主要駅、空港からAIを活用した乗合タクシーで観光客の利便性向上と観光周遊時間の増加が実現できた事例、さらには観光地内での乗合サービス、ライドシェアで観光客の移動課題の解決に取り組んでいる事例をご紹介いただきました。

このような課題をお持ちの皆様に向けた、取組事例の提供をいただきました。

- ・タクシーを呼んでも来ない
- ・年々、公共交通機関が縮小している
- ・車がないと生活(観光)できない
- ・移動問題により観光客の回遊性が損なわれている
- ・交通問題を本気で解決したい

